

回覧

4
April

石津地区社協便り



発行：石津地区社会福祉協議会 編集：総務部 編集委員会 電話：56-2775

いよいよ次年度事業計画の策定へ

第6回運営委員会を開催

2月1日、第6回運営委員会が地区社協事務所にて開催された。多治見市社協の視察報告や各部会の活動報告及び、次年度の役員体制や各区・自治会への「理事・評議員」の選出依頼などについて話し合われた。(小粥努)

◆高齢者支援部会

伊藤弘康副会長より、移動サービス登録者の継続手続きと保険料の取り纏めについて、民生児童委員の会議に参加し説明と依頼を行うこと及び「買い物ツアー」も好評で、さくらヶ丘自治会では専属ドライバーとして佐藤徳光さんにお問い合わせ出来る事になったこと、また、山田妙子さんから毎月第4金曜日に開催している「サロン」では毎回60名を超える参加者があり好評との報告があった。

◆世代交流部会

伊藤弘康部会長より、石津小学校の「米づくり体験」について、来年度より、JAと田鶴地区営農法人と地区社協で協力して行われる予定との報告があった。

◆地域安全・防災部会

昨年12月の避難所体験の総括資料が配布され、部会長より「多くの団体のご協力で成功することができた。災害時の団体間の連携を図る上での第一歩となった。今後も継続して行いたい」との報告。また、小粥努スクールボランティア代表より「1月31日に小学校にて、スクールボランティアの代表者7名と先生方で、児童の登下校の様子やボランティアの現状について情報の共有を目的として、意見交換会を行った」との報告があった。(詳細は3面)



◆総務部会

「社協だより」編集長より2月号について、12月の避難所体験訓練について特集を組み、6ページ建てとして発行したとの報告があった。

伊藤弘康副会長より、1月22日に海津市社協主催の視察研修の報告があった(2面)。

次年度の事業計画の策定に向けて、今年度の評価、反省を踏まえ、各部会で取りまとめ、次回運営委員会で議論することが確認された。

次期役員体制について、理事・評議員の改選に伴い、各区・自治会への推薦を依頼するため会長・副会長が「石津地区代表者会」に出向く事で確認した。



安心・安全な商品を使用

美容室ノエル

海津市南濃町境94番地1

(0584) 56-3099

車のことなら何でもお任せ!
毎日営業8:00~20:00海津市南濃町境1374-1
(0584)-56-1841

「ニーズを見越した事業に感銘」 先進地区に学ぶ

1月22日、海津市社協主催の「先進地区研修視察」が行われ、当地区社協から朝日均会長、伊藤弘康副会長が参加した。その模様を伊藤副会長に聞いた。

自治会の「補助機関」

視察先は、多治見市の「脇之島地域福祉協議会」。多治見市内で最初に設立され、同市内でもモデル的な存在。自治会の「補助機関」的な役割を果たし、住民の福祉活動を支えるボランティア団体として活動されている。



説明を受ける参加者

高齢者の移送は自家用車で

「107名のボランティアと平日配置の2名の事務員で、高齢者移送サービス、触れ合いサロンを始め、福祉相談窓口の開設、健康マージャン教室、樹木剪定などの生活支援など、15にも及ぶ事業を展開している」と説明された。

その内、高齢者移送サービスは、「お出かけシャトル便（買い物対応）」と「ホワイトアッシー君（高齢者移送）」の2本立て。シャトル便は海津市のデマンドサービスと同様。アッシー君は当地区社協の移動サービスと同様だが車両は個人所有。課題はスタッフの高齢化で、日常的にボランティアを募集しているとのこと。

「自主的な事業開始に感銘」

参加した伊藤副会長は「住民が自主的に将来の地域課題（ニーズ）を見越して事業を開始したことに感銘した。『まず始めて、活動しながら改善する』姿勢に高い意識を感じた」と感想を述べた。

「移動サービス」継続へ活発な論議

2月26日、「ゆとりの森」で石津地区の民生児童委員の皆さんとの「意見交換会」が行われた。テーマは、当地区社協の「移動サービス」に関し、現在利用されている方々の継続への手続きの説明。地区社協からは朝日均会長と伊藤弘康副会長が出席した。



説明する朝日会長（左）と伊藤副会長

民生児童委員さんと

徴収と領収書の記入方法などについて説明。

取りまとめ期限などについては、「3月20日、午前中に社協事務所で待機する他、平日の午前、ボランティアが対応する」と説明した。

通院の利用を最優先に

なお、伊藤副会長から移動サービスを取り巻く状況について、①例えば地区全体で高齢化率が上昇していて、また、介護事業者が移動支援事業から撤退する事案が散見されるなどで、利用者が増加傾向にあること②しかし、送迎するドライバーが高齢化し無理がきかず、一日、4か所ほどの送迎に絞らざるを得ないこと③このことから通院の利用を最優先とし、不要不急の利用は他の手段の活用を勧める④ドライバーの運転技術の維持・向上のため、安全運転講習会の更なる充実を検討中、などと強調した。

この説明を受けて、意見交換が行われた。主な意見は①利用者個人の状況の確認②送迎先の追加要望③手続きの細部に関する質問など、活発に出された後、全体で取り組みを進めることが確認された。

名簿のチェックと保険料の徴収

冒頭、朝日会長は、日頃の取り組みに対する民生児童委員の方々への御協力への感謝と「年度替わりを迎え、利用者の継続利用のための手続きに力を貸してほしい」旨、あいさつ。続いて伊藤弘康副会長から「継続利用者の取りまとめの依頼」について、①名簿のチェック ②年間保険料の徴収と取りまとめの期限などを説明した。

名簿のチェックについては、亡くなった方や介護施設に入所した方、入院されているなどで利用の見込みのない方の有無の確認を要請。

年間保険料については、「移動中での負傷などに対する保険」であることを強調し、年間千円の

「父兄ボランティアも募る」 スクールボランティアと小学校の意見交換

1月31日、石津小学校で行われたスクールボランティアの代表者と先生方の意見交換会の模様です。見守り活動が年々難しくなる現状などが話し合われました。(小粥努)

様々な心配を提起—ボランティア

ボランティアから出された主な意見は、①週2回ほど低学年のみで下校する日があり、不審者などの事件があり心配だ②夏には熱中症などの心配がある③児童数も減少しており、下校時など(地区エリアの端に近づくにつれ)児童が一人や二人になるので、見守りが難しい。

学校との連携強化を確認

またボランティアからは①ボランティアの数も減少している、②PTAもなくなると父兄の見守りがどうなるのか?と心配の声が上がり、「学校

としては父兄ボランティアを募り対応をしていく」などの発言があり、学校とのより一層の連携強化やボランティアの確保の必要性などが確認された。



下校時の見守り 児童宅付近まで
同行のスクールボランティアさん

今後は「自主運行」も検討 さくらヶ丘の「買い物ツアー」

2月4日、さくらヶ丘の住民を対象にした「買い物ツアー」が行われた。養老町のスーパー「オークワ」へ6名の方が海津市社協の提供する車で買い物に出掛けた。

佐藤さんの運転は安心

ツアーの対象者は当地区社協の「高齢者移動サービス」の利用者。運転免許証の返納などで移動手段がない方を対象にしている。自治会内で伊藤修二さんを「世話役」に、佐藤徳光さんを「ドライバー」に選定し、初めての取り組み。知り合いばかりなのか和気あいあいと買い物を楽しんだ。

同乗した伊藤弘康副会長によると「ドライバーの佐藤さんの運転技術は自分よりも数段上。

安全運転に徹していて安心して連れて行ってもらえる」とのこと。

フードバンクへ寄付を検討

これまで「試行期間」として地区社協が市社協との窓口を果たしたが、現地からの「今後はできれば自主運行したい」との意向を受け、市社協とも調整することや、毎回、一人200円いただいている「ガソリン代見合い」が10円超の残金が出ているのでその処理について、「フードバンク」に寄付する方向で検討することになった。

サロンが表彰されました



表彰状を手に、山田さん

2月4日、地域福祉に貢献したとして、当地区社協のサロン「わいわいサロン」が海津市社会福祉協議会(森廣美会長)から表彰を受けました。代表の山田妙子さんは「諸先輩が継続してやってこられたからの表彰。光栄ですし、これからの責任の重さを痛感します」と喜びを語りました。

地区社協コーヒーサロンは” 地域のお茶の間”

気軽に立ち寄って、コーヒーを飲みながらおしゃべりが楽しめる

毎月第四金曜日 9時から 11時まで開催します。

4月度は 4月25日 5月度は 5月23日

スタッフ一同ご来場をお待ちしています。

地元の果物・野菜などをお手頃に販売する、朝市も開催しています。





令和6年度福祉標語入賞作品 石津小学校6年生

あいさつは だれの心も ほかほかに 伊関稜晟

ありがとう そのひとことに ありがとう 大橋快理

ボランティアさんを募集しています

石津地区社協の活動はボランティアさんで支えられています。次のようなボランティアさんを募集しています。仲間づくりも兼ねて一緒に活動してみませんか。

高齢者送迎の運転手さん

運転免許証を返納したなどで、移動手段がない70歳以上の高齢者の方を対象に、平日の午前を中心に、病院、買い物、役所などへの送迎をしています。概ね、月1回の活動です。

お問い合わせは伊藤弘康まで。

(080-3654-0975)



青パトで防犯に協力

地域の安全のため、「青色防犯パトロール」活動をしています。小学生の下校時間に合わせ児童生徒の見守りや、行方の分からない方の捜索への協力、ゴミの不法投棄の見回りなどを行っています。概ね、3週間に1回の活動です。

お問い合わせは小粥努まで。

(080-3686-9271)



機関紙づくりのお手伝い

「地区社協だより」を2か月に1回、発行しています。社協の活動に合わせて現地まで出向き、取材などを行っています。文章が書けなくても写真を撮る趣味を持っている方、パソコンに強い方、似顔絵に興味がある方など見えませんか。

お問い合わせは下記まで。

(090-1561-8337)



小学生の登下校の見守り

小学生の登下校時、児童の安全のために見守り活動をスクールボランティアさんが努めています。その取りまとめを地区社協が担っています。児童の数は年々、減少していて見守りをする家族の方も減っています。地域の宝と言える児童の見守り活動に参加してみませんか。

お問い合わせは小粥努まで。

(080-3686-9271)



みなさまとともに歩む

あいおいサポート 株式会社

各種保険の 〒503-0415 海津市南濃町山崎593-63

無料相談受付中 TEL55-2500 FAX55-2555

SEINO

勢濃工業株式会社
勢濃生コン株式会社
勢濃建設株式会社
白馬建設株式会社

〒511-0118 三重県桑名市多度町御衣野1656 TEL0594-48-3000
URL <http://www.seinokogyo.co.jp/>